



宮崎 匠 議員

保育料の完全無料化について

質 名護市で行われている名護市幼保助成事業、また兵庫県明石市の第2子以降の保育料の完全無料化など、県内外の自治体で先進事例として存在します。どちらも所得制限なし、対象は全ての子供としています。各自治体での先進的な取り組みが求められていると考えます。そこで本村における保育料の完全無料化、または第2子以降の保育料の完全無料化について執行部の見解を伺う。

答 福祉課長（石川 司）

福祉課においては保育料の完全無償化、または第2子以降保育料の無償化において、持続可能な制度にするため子育て応援基金も含めた財源確保を行う必要があります。現在継続的な財源確保には至っていません。今回、村の第6次総合計画の中で子育て世帯の経済的負

担を軽減しますということと、明記させていただいているので、今後また検討すべき事項だと思います。

提 子供を育てる環境については何人たりとも平等でなければいけないと考えています。その思いから保育料の完全無料化について質問及び提案を継続的にさせていただいています。国、県がやらないなら村がやる、当たり前のことを当たり前にやるという意識を持って取り組んでいただきたい。

独居高齢者を対象とした村営住宅の建設について

質 地域住民から「家賃が高くて年金だけでは支払いが厳しい」という声を実際にいただいています。そこで主に65歳以上のひとり暮らしの方を対象とした村営住宅の建設について執行部の見解を伺う。

答 企画課長（喜久山 隆）

今後の整備については、例えば1階部分を高齢者対象として、その上の部分を子育て世帯対象とする等、需要の動向を見て関係機関と協議して計画していきたいと考えています。

提 全国的な物価高、本村においては家賃が高騰している中で、生活が

厳しくなるのは当然のことだと思っています。現段階で住環境においても何かしらのアクションを起こしていかなければ、誰一人取り残さない社会の実現は達成されないと考えます。

漁業の振興について

質 これまで行われている補助等を踏まえ、農業においては国及び県からの補助が手厚いように思えますが、漁業においては、特に県、国からの補助支援が手薄なように感じます。そこで漁業及び農業、それぞれにおける県、国、村からの直接的な補助及び支援について伺う。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

令和6年度予算において、農業者に対する直接的な支援としては、農産物資材等購入金補助をはじめとする補助金で、4533万4千円、財源内訳としては、県補助金720万円、一般財源等が3813万4千円となっております。次に漁業者に対する直接的な支援についてですが、水産業奨励補助金による養殖網の購入補助金245万円、財源は一般財源等となっております。

質 全国の各自治体で独自に行われている漁業者に対しての支援や補助

メニューについて調べてみると、比較的手厚い支援や補助が行われている北海道などの各自治体と比べて、本村を含めた沖縄県内の漁業者に対する各自治体の独自の支援や補助が少ない現状にあると思います。この現状も踏まえて、今後の漁業者に対する支援及び補助について執行部の見解を伺う。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

現在、本村を含めて沖縄県内の漁業者に対する支援及び補助については、北海道などの他の地域と比較すると支援内容や範囲において不足している点があることは認識しています。村としては、漁業経営の安定化を図り、持続可能な漁業の実現のためにも漁業者に対して何らかの支援は必要と考えています。支援について全国で取り組まれている事例等も参考にしながら、漁業者や漁協の意見も確認し、検討していきたいと考えています。

提 本村における漁業としては何が効果的なのか、またどのような補助、支援が必要なのかを考えて、しっかり組合の方とも協議を重ねていただいて、漁業を生業とする漁業者に対する継続的な補助及び支援について取り組んでいただきたい。

農業の振興について

質 農業者へどのような支援、取り組みが行われているのか。また、今後どのような取り組みを行っていくのか伺う。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

農業を取り巻く環境は世界情勢や円安による物価高騰など、厳しい状況下にありますので、今年度も農業経営の安定化に向けた各種支援を行います。農業関連資材、生産資材の高騰が続いていることから、一部資材には令和4年度より10%補助率の引き上げを実施しています。簡易ハウス設置補助については、これまで新規ハウス設置のみが対象でしたが、農家から耐用年数を超過したハウスの修繕に対する補助の要望も多いことから、令和5年度より修繕も補助対象としています。園芸施設共済補助については、園芸施設が自然災害等に被災した際に、園芸施設共済加入者は掛け金に応じて共済金が受け取れ、施設の復旧費用に充てられるなど、農家の経済的負担が軽減されます。農家負担額の助成を30%から50%に引き上げを行い、園芸施設共済加入促進に取り組んでいきます。畜産関連では、飼料購入補助について畜産農家の厳しい経営状況を踏まえ、令和4年度より5%補助率引き上げを実施しています。

名嘉真区・川沿い安全のための柵、フェンス老朽化について

質 名嘉真区河川沿い、安全のための柵、フェンスが老朽化のため、サビや折れた箇所があります。対応について伺う。

答 建設課長（當山 国博）

名嘉真川は2級河川です。北部土木事務所が維持管理を行っています。昨年度は右岸側（山側）の下流部の転落防止柵の修繕は見られましたが、左岸側（集落側）の転落防止柵の破損や支柱の腐食は改善されていません。撤去や復旧も含めて検討するよう要請していきたい。

生活環境の保全・創出について



新城 哲 議員

質 名嘉真区から喜瀬武原区へ抜ける農道、林道、村道があります。そこにゴミなどが捨てられています。今後の対応について伺う。

答 村民課長（山城 達也）

不法投棄の禁止については、ごみの正しい分け方、出し方の冊子版や村ホームページでも周知しています。今後関係部署と連携し、引き続き周知活動、パトロール等を強化し、悪質な不法投棄については中部保健所、石川警察署と連携し、対応します。



▲村道の不法投棄

安全・安心対策の拡充について

質 近年の車社会において、交通渋滞は大きな問題の一つです。安富祖